

尾張旭市防災会議 会議録

1 日時

平成22年8月5日(木)

開始 午後2時

終了 午後2時30分

2 場所

尾張旭市役所 3階 講堂1

3 出席委員

市長、守山警察署長(代理)、副市長、教育長、都市整備部長、消防長、消防団長、中部電力(株)旭名東営業所長、東邦瓦斯(株)瀬戸営業所長、NTT西日本-東海 名古屋設備サービスセンタ所長、愛知県エルピーガス協会瀬戸旭分会代表、尾張建設事務所長(代理)、瀬戸保健所長(代理)、瀬戸旭医師会代表、自治連合協議会代表、尾張旭市土木業協会理事長、尾張旭市建築業協会長、尾張旭市管工事業協同組合代表理事(代理)、日赤尾張旭市地区奉仕団代表、尾張旭市婦人消防クラブ会長、瀬戸旭長久手薬剤師会代表、愛知県尾張県民事務所長 22名

4 欠席委員 尾張旭市歯科医師会長 1名

5 傍聴者 0名

6 事務局出席職員

市民生活部長 酒井 敏幸、安全安心課長 日比野 茂、

安全安心課長補佐 三浦 明、

安全安心課主査 高倉 哲郎、安全安心課主査 正木 太志朗

7 議題等

(1) 平成22年度尾張旭市防災訓練について

(2) その他

8 議事

<p>安全安心課長</p>	<p>それでは、定刻となりましたので、ただいまから尾張旭市防災会議を開催いたします。</p> <p>会議に先立ちまして、関係機関の人事異動等により委員の交代がありましたので、ご紹介いたします。それでは、お名前をお呼びいたしますので、ご起立をお願いいたします。</p> <p>尾張旭市消防団長 水野歳男 様。 (株)NTT西日本-東海 名古屋東設備サービスセンター所長 長谷川和伸 様。 愛知県尾張建設事務所長 川崎昭弘 様。 愛知県瀬戸保健所長 伊藤求 様。 瀬戸旭医師会副会長 黒江幸四郎 様。 日本赤十字社尾張旭市地区奉仕団委員長 西山妙子 様。 尾張旭市都市整備部長 桜井政則 様。 尾張旭市消防本部消防長 角谷昭彦 様。 皆様、今後ともよろしく申し上げます。</p> <p>また、災害時の現場即応体制の強化及び市町村に対する防災支援体制強化のため、新規委員として 愛知県尾張県民事務所長 北川昌宏 様 に新たに会議に参加していただきます。</p> <p>それでは、愛知県尾張県民事務所長 北川様 からあいさつをお願いします。</p>
<p>愛知県尾張県民事務所長</p>	<p>愛知県尾張県民事務所長の北川です。このたび、尾張旭市の防災会議の委員となりました。</p> <p>愛知県では、平成20年度に地方機関の再編を行いました。その際に、県事務所を県民事務所と改めまして、地域の皆様方の防災をはじめとした安全安心の拠点とすることを大きな柱としております。防災に関しましては特に愛知県を尾張・西三河・東三河と分割し、尾張県民事務所は尾張方面本部ということになっております。</p> <p>防災と申しますのは、県も市町もなく一体となって対応すべきであり、こうした観点から市町の防災会議に是非参加させていただきたいという要望を申し上げましたところ、快く尾張旭さんには受けていただきまして本当にありがとうございました。県といたしましては、これから尾張旭さんをはじめとしたいろいろな市町の方と合同研修を行うなどして、顔の見える関係作りを図ってまいりたいと思っております。</p> <p>皆様方との情報交換を通じ、県との協力関係の一層の強化を図ってまいりたいと思っておりますので、よろしくをお願いいたします。</p>
<p>安全安心課長</p>	<p>それでは、会議に先立ちまして本会議の会長であります市長からあいさつをお願いします。</p>

<p>市長</p>	<p>防災会議の開催にあたり、一言ごあいさつを申し上げます。</p> <p>暑さ厳しい折、本日は、平成22年度の防災会議を開催いたしましたところ、皆様方には、大変お忙しい中、ご出席を賜り、誠にありがとうございます。</p> <p>また、平素から、市政の推進、とりわけ、防災行政にご理解、ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。</p> <p>さて、今年の7月の豪雨により各地で大きな被害が発生し、尊い命が奪われました。被災されました皆様には、心よりお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興を願うものであります。</p> <p>災害は、いつ、どこで、起こるか予測ができません。こうした不足の事態に対処するためには、行政だけでなく、関係機関や地域の皆様と一体となって、防災体制の充実、強化を図っていくことが重要であります。</p> <p>災害を未然に防ぐためには、「自分の身は自分で守る」、「自分たちのまちは自分たちで守る」という意識のもと、安全、安心に暮らせるまちづくりを進めていかなければなりません。</p> <p>今後も災害に強いまちづくりに努めてまいりますので、皆様方のご指導、ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。</p> <p>本日は、8月29日に実施いたします「総合防災訓練」について、皆様方の忌憚のないご意見をいただき、実施していきたいと思っております。どうか、よろしくお願いいたします。</p>
<p>安全安心課長</p>	<p>本会議の議長は、会長であります尾張旭市長がつとめますので、よろしくお願い致します。</p>
<p>市長</p>	<p>ただいまの出席委員は、22名であります。尾張旭市防災会議条例第5条第2項による定足数に達しておりますので、これより会議に入らせていただきます。</p> <p>本日の議題は、平成22年度尾張旭市防災訓練についてであります。</p> <p>ではまず事務局より説明をお願いします。</p>
<p>安全安心課長補佐</p>	<p>それでは、事務局より説明をさせていただきます。お手元の資料をご覧ください。</p> <p>(別添資料に沿って、防災訓練の概要を説明)</p>
<p>市長</p>	<p>ただいまの事務局の説明につきまして、ご意見、ご質問などがあればお受けいたします。</p>
	<p>(意見・質問なし)</p>

市 長	<p>よろしいですか。</p> <p>ご意見、ご質問もないようですので、ただいま説明いたしましたこのことについて原案どおり決することについて、ご異議ございませんか。</p>
	(異議なしの声あり)
市 長	<p>ありがとうございます。</p> <p>ご異議なしと認めますので、平成22年度尾張旭市防災訓練について、原案どおり決定をいたします。</p> <p>その他としてあれば事務局より説明をお願いします。</p>
安全安心課長補佐	<p>今日お手元にご用意した資料の説明をしたいと思います。まず、尾張旭市ハザードマップです。こちらは昨年3月作成をしまして、市民の方には全戸配布をしております。平成17年度に土砂災害を掲載したハザードマップを作りましたが、今回新たに河川の氾濫や内水の箇所を載せた図面を作成しました。参考にさせていただきたいと思います。もう一つ、マップをお配りしております。こちらは地震危険度マップで、17年2月に作成したマップですが、尾張旭の各地の震度の予測が載っております。こちらは震度予測などに変わりはありませんが、最新の医療機関などを載せたものになっております。こちらのマップもご活用ください。</p> <p>また、次回の防災会議につきましては、例年、地域防災計画の見直しを議題といたしまして、2月ごろの開催を予定しております。またその節はよろしく願いいたします。</p> <p>以上で説明を終わります。</p>
瀬戸旭医師会副会長	<p>ひとつよろしいでしょうか。災害時における医師会との連絡手段について伺いたいと思います。</p> <p>医師会は災害用の衛星携帯電話を持っていますが、尾張旭市は持っていますか。</p>
安全安心課長	<p>今のところまだ、衛星電話は持っておりません。今後の検討課題です。</p>
瀬戸旭医師会副会長	<p>避難所には無線があると思いますが、医師会にも無線がありますので、そういったものを活用していただくのはいかがでしょう。</p>

安全安心課長	尾張旭市は小中学校が避難所になりますが、それぞれの避難所長が無線を持って駆け付けるということになっております。無線機につきましては周波数が決まっております、医師会に設置されている無線機と周波数が合うかわかりませんので、調査させてください。
市 長	それでは、本日の会議を終了したいと思います。 ご協力、誠にありがとうございました。
安全安心課長	慎重なご審議ありがとうございました。最後に、委員各位におかれましては、来賓駐車場を東栄小学校内に用意しておりますので、ぜひともご参観いただきますようお願い申し上げます、尾張旭市防災会議を終了させていただきます。

尾張旭市防災会議

日時 平成22年8月5日(木)

午後2時

場所 尾張旭市役所3階 講堂1

1 あいさつ

2 議題

平成22年度尾張旭市防災訓練について

3 その他

議 題

平成22年度

尾張旭市防災訓練

概 要

(案)

と き 平成22年8月29日(日)
午前8時30分～午前11時
と ころ 尾張旭市立東栄小学校
主 催 尾張旭市防災会議

平成 22 年度尾張旭市防災訓練実施要綱

1 目的

この訓練は、大規模地震対策特別措置法第 32 条、災害対策基本法第 48 条及び尾張旭市地域防災計画に基づき、尾張旭市を始めとする防災関係機関、地域住民等が総ぐるみで、大規模地震を想定した総合的かつ実践的な防災訓練を実施することにより、訓練参加機関等の地震災害時における相互協力体制の確立、民間防災体制の強化及び市民の防災意識の高揚を図ることを目的とする。

2 訓練実施日時

平成 22 年 8 月 29 日（日）

午前 8 時 30 分から午前 11 時まで

3 訓練場所

尾張旭市立東栄小学校

尾張旭市東栄町三丁目 5-1

4 主催

尾張旭市防災会議

5 訓練参加機関（順不同）

愛知県、尾張旭市、瀬戸市消防本部、長久手町消防本部、陸上自衛隊第 35 普通科連隊、愛知県守山警察署、尾張旭市消防団、尾張旭市婦人消防クラブ、日本赤十字社尾張旭市地区奉仕団、尾張旭市土木業協会、尾張旭市建築業協会、尾張旭市管工事業協同組合、中部電力株式会社旭名東営業所、東邦瓦斯株式会社瀬戸営業所、愛知県エルピーガス協会瀬戸旭分会、尾張旭ハムクラブ、東栄連合自治会、渋川自主災害対策本部、城山自主災害対策本部、白鳳自主災害対策本部、旭丘自主災害対策本部、本地ヶ原自主災害対策本部、瑞鳳自主災害対策本部、旭自主災害対策本部、東栄自主災害対策本部、三郷自主災害対策本部、尾張旭防災リーダー会、愛知県トラック協会尾張旭部会、コカ・コーラセントラルジ

ジャパン株式会社

6 訓練統轄及び指揮

- (1) 統轄 尾張旭市災害対策本部長
- (2) 指揮 各訓練参加機関の長

7 災害の想定

- (1) 東海地震発生 平成22年8月29日午前8時45分
- (2) 震源地 駿河湾（駿河トラフ付近）
- (3) 規模 マグニチュード8
- (4) 震度 5強
- (5) 被害 市内全域で家屋の倒壊、火災が発生するとともに道路を始めとする各施設に大きな被害が発生

8 訓練内容

別紙「訓練の概要」のとおり

9 その他

この訓練は、小雨決行とする。なお、訓練開始前の降雨等により訓練場所の使用が不可能な場合は、中止とする。

また、訓練当日、大雨、洪水、暴風警報のいずれかが発表された場合若しくは東海地震に関する予知情報・注意情報が発表された場合（警戒宣言が発令された場合を含む。）又は市内に震度4以上の地震が発生した場合は中止とする。

また、注意報が発表された場合は、一部訓練を中止する場合もある。

訓 練 の 概 要 (平成22年度) 案

No.	訓練項目等	訓練内容	訓練機関	訓練時間
1	訓練開始伝達	・訓練の開始を宣言する。	統括部庶務班	午前8:30
2	警戒宣言発令	・災害対策本部を設置する。	統括部庶務班	8:30
3	集団避難 避難広報	・地域住民は、守山警察署及び東栄自主防災組織・自治会役員の誘導により避難所へ避難する。 ・消防団は、被災者に避難広報をする。	東栄地域住民 (350人) 守山警察署 消防団(第一分団)	8:31~8:42
体育館 (4避難所説明、5ガスマイコン、6防災啓発、7建築物簡易耐震診断) グラウンド(8体験コーナー 煙道) (9エアータント(仮想病院))				
10	仮設テント設営 訓練	・自主災害対策本部は、避難住民用の仮設テントを設営する。	自主災害対策本部	8:32~8:42
11	緊急地震速報	・緊急地震速報が放送される。	統括部庶務班	8:43~8:44
12	東海地震発生	・爆竹、発煙筒等により地震発生の合図を行う。	統括部庶務班	8:45~8:46
13	倒壊家屋からの 救出訓練	・自主災害対策本部は、倒壊家屋の下敷きになった人をジャッキ等を使用し救出する。	自主災害対策本部	8:47~9:00
14	木造倒壊家屋救 出訓練	・消防班は、倒壊家屋に取り残された被災者を救出し、仮想病院に搬送する。	消防部消防班 消防団(第三分 団・第五分団)	8:55~9:55
15	救護活動	・救援部救護班は、負傷者の応急手当を行う。 ・地域住民は救援部救護班の指導を受け、応急手当を受けた負傷者を担架で仮想病院へ搬送する。	東栄地域住民 (赤白腕章6人) 救援部救護班 救援部救護班 消防部消防班	9:01~9:11
16	被害状況偵察	・対策本部長の要請を受けて陸上自衛隊は地上での被害状況偵察を行う。	陸上自衛隊	9:12~9:19
17	炊き出し	・日赤奉仕団及び統括部食糧班は、給水班の水を利用・運搬するとともに、エルピーガス協会と協力して、炊き出し用資機材を設置し、非常食(300食)の炊き出しを行い、避難住民に配布する。	日赤奉仕団 統括部食糧班 エルピーガス協会 瀬戸旭分会	9:20~10:35
18	緊急輸送路確保	・対策本部長の要請を受けた尾張旭市土木業協会及び復旧工事部復旧班は、守山警察署の先導のもと、道路上に放置された車両の排除及び倒木、ブロック塀等のガレキの撤去を行い、緊急輸送路を確保する。	守山警察署 尾張旭市土木業協 会 復旧工事部復旧班	9:21~9:35
19	配水管応急復旧	・復旧工事部給水班は、地震により配水管が破損、漏水が発生したため、配水管の応急復旧工事を行う。	尾張旭市管工事業 協同組合 復旧工事部給水班 施設復旧隊	9:36~9:55
	給水支援	・ろ水機により生活用水を給水するとともに、災害により断水となった地域住民に応急給水袋の使用方法を指導する。	東栄地域住民 (桃腕章20人) 復旧工事部給水班 応急給水隊	9:36~10:05
20	電力施設応急復 旧	・電柱の倒壊、電線が断線したため早期に電源を確保する必要から、ドラム缶工法を用いた仮送電を行い、電源の確保を行う。	中部電力(株)旭名東 営業所	9:56~10:35
21	アマチュア無線 情報収集	・災害対策本部からの要請を受けた尾張旭ハムクラブは、市内各校区拠点避難所等との連絡訓練を実施する。	尾張旭ハムクラブ	9:57~10:35

22	救援物資搬送訓練	・対策本部長の要請を受けて愛知県トラック協会は、救援物資を搬送する。 ・地域住民は、救援物資を受取り、避難所へ搬送する。	東栄地域住民 (桃白腕章8人) 愛知県トラック協会	9:58~10:10
体育館 (23救護指導)				
24	飲料水の提供	・対策本部長が協定に基づき、コカ・コーラセントラルジャパンに要請し飲料水を避難住民に配布する。	東栄地域住民 (緑黄腕章5人) コカ・コーラセントラルジャパン	10:11~10:15
25	初期消火訓練	・地域住民は、火災による被害を最小限に留めるため、婦人消防クラブ及び消防部捜索班の指導のもとに消火器による初期消火訓練を行う。	東栄地域住民 (青腕章42人) 婦人消防クラブ 消防部捜索班	10:16~10:30
26	バケツリレーによる消火活動	・地域住民は、バケツリレーによる消火活動を行う。	東栄地域住民 (赤腕章80人)	10:16~10:30
27	中層建物救出訓練	・倒壊しかけているマンションの屋上に取り残された住民を救助するため、梯子車等により救助活動を行う。	消防部消防班 瀬戸市消防本部 長久手町消防本部	10:31~10:51
28	訓練終了伝達	・訓練の終了を宣言する。	統括部庶務班	10:52
29	啓発	・防災意識高揚のための啓発を行う。	統括部庶務班	10:52
30	講評	・訓練に対し本部長より講評を受ける。		10:53~10:55
体育館				
4	避難所説明(臨時収容施設避難民収容)	・救援部避難所班は、体育館で避難した地域住民の収容及び対応にあたり、避難所の説明をする。	東栄地域住民 (体育館で説明黄腕章60人) 救援部避難所班	8:31~9:00
5	ガスマイコンメーター復帰	・マイコンメーターのモデルにより参加者が復帰体験をする。 ・パネル展示	東邦瓦斯(株)瀬戸営業所	8:31~10:30
6	防災啓発活動	・家具の転倒防止、AEDを使用した心肺蘇生法、パソコンを使用しての地震表示、パネル掲示、防災相談コーナーなど防災啓発活動を行う。	尾張旭防災リーダー会	8:31~10:30
7	建築物簡易耐震診断	・震動実験用の模型家屋(ぶるる君)を使用しての耐震診断(民間住宅)	被災建築物応急危険度判定実施本部	8:31~10:30
23	救護指導	・救援部救護班は、地域住民を対象に、三角巾等を使用した応急救護法の指導を行う。	東栄地域住民 (体育館で説明緑腕章50人) 救援部救護班	10:00~10:30
グラウンド				
8	体験コーナー(煙道通過)	・スモークマシンにより煙を起こし、煙道通過体験訓練を行う。	統括部庶務班 消防部捜索班	随時 (~10:35)
9	エアートント展示(仮想病院として使用)	・災害時に使用するエアートントを展示する。	消防部消防班	随時 (~10:35)

平成22年度 防災訓練会場 東栄小学校（イメージ図）



